

平成24年第2回飯館村議会定例会一般質問通告書

平成24年2月28日・午後3時20分・受付 No.1

議席	通告者氏名
1番	松下義喜

質問事項・内容		答弁者	答弁内容
1. 帰村計画について			
1-1	復興計画、除染行程表が出されたが、帰村後の生計を立てるのにどのような形で自立した生活を送ることができるか、早めの計画と計画の中にもっと詳しい内容を示すべきではないのか伺う。	村長	
2. 除染について			
2-1	農地除染をする中で土中の放射性セシウム量が1キロ当たり何ベクレルまで下げるのか伺う。 また、どの位のベクレルまで下げれば、作物を作れるのか伺う。	村長	
2-2	さらにその作物の販売先と販売手法をどのようにしていく考えか伺う。	村長	

平成24年第2回飯館村議会定例会一般質問通告書

平成24年2月29日・午前8時55分・受付 No.2

議席	通告者氏名
2番	飯 樋 善 二 郎

質 問 事 項 ・ 内 容		答 弁 者	答 弁 内 容
1. 除染事業の課題について			
1-1	モデル除染の結果からして線量が概ね半分程度下がることが実証されたが、本除染でも同程度とすれば目標達成が厳しいのではないか。所見を伺う。	村長	
1-2	仮置き場を村内に3年程度としているが、双葉地方に予定されている中間貯蔵施設を設置するための国との協議が厳しい状況にあるが所見を伺う。	村長	
2. 新しい産業と農地の再利用について			
2-1	除染が一定程度確立されて一部の村民が帰村するとしても、元の農業をそのまま継続することは困難と思われるが、雇用も含めてどう対応していくのか所見を伺う。	村長	
2-2	再生可能エネルギーの導入を進める考えはあるか、あるとするならどのような産業を想定しているか所見を伺う。	村長	
3. 放射線量による3分割の線引きについて			
3-1	間もなく発表されようとしている区割りについて、村では住民の分断につながるとして同じ対応を求めているが、どのような未来像を想定しているのか所見を伺う。	村長	
3-2	放射能の高線量地域の復興をどのように捉えているのか、さらには健康管理をどう克服していく考えか所見を伺う。	村長	

平成24年第2回飯舘村議会定例会一般質問通告書

平成24年2月29日・午後2時45分・受付 No.3

議席	通告者氏名
7番	菅野義人

質問事項・内容		答弁者	答 弁 内 容
1. 復興計画の推進に向けて留意すべきことについて			
1-1	復興計画は帰村可能な条件整備を図りながら、より多くの村民に帰村意識をもたせるべく施策の実現を目指すべきで、計画の推進にあたり住民懇談会を通じて出された意見や要望をまとめ、反映させる努力が求められる。特に将来を担うべき青壮年層の低線量被ばくに対する意識の違いから来る不安が多い。意識の違いを埋めるべく施策を進めるべきである。	村長	
1-2	計画推進にあたり、生きるすべとしての帰村後の収入の確保策の方向性が見えない。除染作業の従事以外に新エネルギー導入のための模索、除染後の農地の活用策など多面にわたり検討を始めるべきではないか。	村長	
1-3	国の除染行程表と村の除染プランとの違いが明確になって来ている。特に高線量地域の除染の進め方や国の考える避難区域の見直し、除染目標線量の実現に向けてどのように要求していくのか。また、村として帰村（宣言）可能な条件を空間放射線量や農地の除染の関連においてどのように考えているのか。	村長	
1-4	除染後の具体的な帰村プランの一つとして「復興スマートビレッジ構想」を基に、復興住宅を建設する構想が復興推進委員会に諮問されたが、12月に立案された復興計画には含まれておらず、住民懇談会でも十分な説明はされていない。住民意識と格差を生ずる可能性があるため慎重にすべきと考える。	村長	
2. 村民ともっと寄り添った避難生活支援について			
2-1	平成23年10月に行った村民生活実態調査によると避難生活を続ける上で補償に関しての情報提供を求める声が多い。特に独り暮らしや高齢者世帯に対しては、賠償等の請求にあたって支援策を充実する必要があるのではないか。	村長	

平成24年第2回飯舘村議会定例会一般質問通告書

平成24年3月1日・午前10時00分・受付 No.4

議席	通告者氏名
12番	佐藤長平

質問事項・内容		答弁者	答弁内容
1. 村の復興再生と村民の帰村に向けた取組みについて		村長	
1-1	新エネルギー（木質バイオマス）を活用した冷暖房・給湯システム（地域熱供給センター）の導入による「環境にやさしい村モデル」を構築し、再生可能エネルギー研究所、除染技術センター、村民コミュニティーセンター、老人集合住宅、園芸温室団地等、帰村に向けた新しい村づくりが必要だが所見を伺う。		

平成24年第2回飯館村議会定例会一般質問通告書

平成24年3月1日・午前10時50分・受付 No.5

議席	通告者氏名
3番	北原 経

質問事項・内容		答弁者	答弁内容
1. 村の復興計画について			
1-1	アンケート・意向調査を早急に学生と一般村民など年齢別にきめ細やかに 行うべきと思うが考えを伺う。 また、多くの村民も良いアイデアを持っているので、復興計画に生かすべ きと思うが伺う。	村長	
1-2	いいたてまでいな復興計画推進委員会、除染推進委員会、リスクコミュニ ケーション推進委員会の3つの組織が立ち上げられたが、委員の構成で人数 も含め村民の希望は入っているのか伺う。 多くの意見を聞くため、委員を公募する考えはないか。	村長	

平成24年第2回飯館村議会定例会一般質問通告書

平成24年3月1日・午前11時45分・受付 No.6-1

議席	通告者氏名
10番	佐藤 八郎

質問事項・内容		答弁者	答弁内容
1. 村民の生活再建について			
1-1	経済、住宅、ライフラインの現状をみての、再建施策を伺う。	村長	
1-2	健康増進施策によって、村民の通院・要医療・施設入所等を減少させることが求められているが、その方法と施策を示せ。	村長	
1-3	村民のために財物など原発事故による因果関係のある損害賠償について積極的に村が助言・指導をすべきである。	村長	
2. 放射性物質の除去について			
2-1	除染計画の実施と見通しをきちんと示すことで村民の不安解消を図るべきである。また、放射性物質31種類が発表されたが、村独自にあるもの・県・国・国際的に発表されているものの実態を正しく公表すべきだ。	村長	
2-2	仮置き場、仮々置き場の問題で、林野庁の郡山市の森林除染実証試験によると20㎡で針葉樹では1,112Kg、広葉樹で1,270Kg出ている。村の仮置き場においては、地区住民・関係住民は安心・安全なのか。	村長	
2-3	除染は住宅周辺のみで、人として生活できる環境となるとする根拠。放射能は雨、風、雪、流水などでどのように移動すると考えて、対応するのか。	村長	

平成24年第2回飯舘村議会定例会一般質問通告書

平成24年3月1日・午前11時45分・受付 No.6-2

議席	通告者氏名
10番	佐藤 八郎

質問事項・内容		答弁者	答 弁 内 容
3. 村の情報は村民の情報であることについて			
3-1	村民と共に歩むことは共通認識が生まれ村民の力も生かされる。村民の現状意識を知らない中での行政執行では「オール被害者」とならない。	村長	
3-2	先の住民懇談会で議会に報告のないことが2点発表された。このようなやり方では「議会」は何をやっている、区長会、自治会より役割を果たしていないと思われるのが実態だ。改善を求める。	村長	